

おかげさまで1周年 相馬復興市民市場

「浜の駅松川浦」



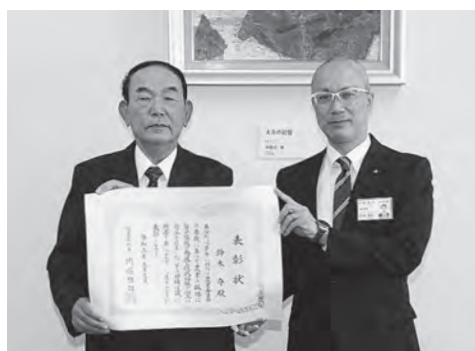
相馬復興市民市場「浜の駅松川浦」の1周年を記念したイベントは10月22日、24日の3日間、同市場で開催されました。

浜の駅松川浦は、観光拠点のほか、風評払しょくや復興のシンボル、市民の台所として整備され、令和2年10月25日にグランドオープン。

10月23日は、メダカすくいや野菜の詰め放題、おさかなマイスターによるマグロ解体ショーなどが催されたほか、市場内にある浜の台所「くあせつと」で海産物をふんだんに使った「オールスター感謝丼」などが提供され、訪れた人たちが新鮮な魚介類や野菜などを買い求め、相馬の味覚を堪能しました。



地域農業の発展 に貢献 農業功労者知事 表彰



農業功労者知事表彰報告は10月21日、市役所で行われ、鈴木守さんが阿部勝弘副市長に受賞を報告しました。

同表彰は、農業委員として15年以上、うち会長職として6年以上在任し、農業の振興発展に寄与した方に贈られるもので、鈴木さんは平成14年から市農業委員として16年間従事し、平成24年から平成30年まで同会長を務めました。

阿部副市長は「長年、地域農業の発展に尽力いただきありがとうございます」と鈴木さんの受賞をたたえました。

惜しくもベスト8に届かず 市町村対抗ソフトボール大会

第8回市町村対抗福島県ソフトボール大会は10月16日、11月3日のうち5日間、相馬光陽ソフトボール場で行われ、県内55市町村が参加しました。同大会は、県内市町村の交流と震災からの一日も早い復興を祈念して平成26年から開催。

相馬市チームはシード枠で2回戦から出場。10月24日に檜葉町チームと対戦し、初回から斉藤亮汰選手の3塁打、真壁好貴選手のライト前ヒットで先制したあと、鈴木康平選手の2ランホームランなどで4点を先制。2回にも蒲生



貴志選手の2ランホームランなどで得点を重ね、17対1で勝利しました。

3回戦は10月30日、ベスト8をかけて川俣町チームと対戦。

試合は、初回に3点を先制され、その裏2点を返すなど点を取り合う展開となり、5回裏、蒲生貴志選手の2ランホームランで同点に追いつくも最後は7対8で敗退し、ベスト8進出を逃しました。

来年は相馬市チームがベスト8以上の成績を残せるよう、皆さんの応援をお願いします。

東日本大会出場報告

相馬東高校吹奏楽部

市芸術文化奨励金交付式は、10月15日、市役所で行われ、赤石澤珍夫生涯学習部長が相馬東高等学校吹奏楽部に奨励金を手渡しました。

同校吹奏楽部は、10月10日に北海道で開催された東日本学校吹奏楽大会に出場。

前田亜美香部長は「3年生は東日本大会で引退です。このメンバーでの最後の演奏は良い思い出になりました」と大会の感想を述べました。



新型コロナウイルス感染症対策を支援

明治安田生命

明治安田生命保険相互会社による寄付は10月18日、市役所で行われ、佐藤力也同社いわき支社長ら5人が訪れました。

同社の「私の地元応援募金」の一環として寄付を行うものは「ありがとうございます。3回目のワクチン接種も始まるので、新型コロナウイルス感染症対策のために大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



10周年を記念し トチノキを植樹 松川浦環境公園

松川浦環境公園10周年記念行事は10月23日、同公園で行われ、関係者約50人が出席しました。

式で、同公園を管理しているNPO松川浦ふれあいサポーターの飯土井光毅理事長が「平成23年の東日本大震災で大きな被害を受けましたが、皆さんの協力により10周年を迎えることができ、嬉しく思います」とあいさつ。

立谷市長、菊地清次市議会議長の来賓祝辞のあと、園内にトチノキなどが植樹されました。



親子で触れ合う 相馬愛育園ちびっこオリンピック

相馬愛育園親子レクリエーション「ちびっこオリンピック」は10月16日、同園で開催され、56人の親子が参加しました。

開会式で代表の子どもがオリンピックの五色のトーチを持ち、聖火リレーを行ったほか、浮き輪や手作り自転車に乗り、障害物競争をする「トライアスロン」など、オリンピックにちなんだ競技が実施され、親子で楽しい時間を過ごしました。



みんなで楽しくハロウィーン

相馬愛育園アイアイ広場

相馬愛育園親子教室（アイアイ広場）は10月21日、同園でハロウィーンパーティーを開催し、親子ら36人が参加しました。

子どもたちは、おぼけの帽子を作ってパンプキンダンスを踊ったほか、「トリックオアトリート」の魔法の言葉でキャンディーをもらい、一足早いハロウィーン気分を楽しみました。



プロの指導を受ける 相馬子どもオーケストラ公開レッスン

相馬子どもオーケストラ公開レッスンは10月23日、総合



福祉センターで開催され、同オーケストラの教室生7人が参加しました。

一般社団法人エル・システマジャパンが主催し、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団第一ヴァイオリン奏者のヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルクさんを講師に迎えて開催。

ヘーデンボルクさんが教室生たちに熱のこもった指導を行いました。

練習の成果を披露

相馬・新地地区小・中学校音楽祭

第61回相馬・新地地区小・中学校音楽祭は10月27日、市民会館で開かれ、両地区の17校が参加し、練習の成果を披露しました。

「マイバラード」、「ホール・

ニュー・ワールド」、「キセ

キ」、「星影のエール」、「津軽

海峡・冬景色」などの幅広い

曲目が合唱や合奏、吹奏楽で

披露され、参加した児童らは

互いの演奏に大きな拍手を送

りました。



全国大会出場報告 中村第一中学校 吹奏楽部



全国中学校体育大会出場報告は10月29日、市役所で行われ、中村第一中学校吹奏楽部の部員ら5人が訪れました。

同校吹奏楽部は、10月20日に福島市で開催された第75回福島県下小・中学校音楽祭で最優秀賞の成績を収め、全国大会出場を決めました。

報告を受けた立谷市長は「おめでとうございます。全国大会でも息の合った演奏を披露してください」と激励の言葉を贈りました。

子どもの遊び場の未来を考える

相馬こどものみんなの家

相馬こどものみんなの家のアーカイブ動画の撮影は10月28日、同所で行われ、阿部勝弘副市長のほか建築に携わった関係者10人が参加しました。同撮影は、令和4年1月に開催を予定している「みんなの家シンポジウム」熊本と東北を結んで」で上映する動画を作成するために実施。



阿部副市長が東日本大震災当時の本市の取り組みなどについてインタビューに応じました。

尾浜こども公園にケヤキを植樹

相馬地方植樹祭

第63回相馬地方植樹祭は10月29日、尾浜こども公園で行われ、関係者8人が参加しました。

相馬地方緑化推進委員会と相馬市緑化推進委員会の主催。式で、立谷市長が「新たなシンボルツリーを通して、子どもたちに緑を大切に育てる気持ちを持ってもらいたい」と述べ、草野清貴相馬地方森林土木建設業協会副会長らとケヤキを植樹しました。



スポーツ大会出場報告

バドミントン



スポーツ大会出場報告は11月1日、市役所で行われ、大宮蒼空選手（桜丘小6年）と大宮冬馬選手（桜丘小5年）が立谷市長に全国大会出場を報告しました。両選手は、第27回福島県小学生バドミントン選手権大会兼東北小学生バドミントン大会で優秀な成績をおさめ、12月26日に郡山市で開催される第30回全国小学生バドミントン大会に出場します。

トランポリン



スポーツ大会出場報告は11月5日、市役所で行われ、相馬トランポリンクラブの選手11人が赤石澤珍夫生涯学習部長に東北大会出場を報告しました。選手らは、第37回福島オープントランポリン競技選手権大会で優秀な成績をおさめたことから、県の推薦を受け、11月6日に宮城県登米市で開催される東北大会への出場を決めました。

長年の活動をたたえる

相馬おはなしの部屋



優良読書グループの受賞報告は11月4日、市役所で行われ、相馬おはなしの部屋の菊池幸枝代表ら2人が訪れました。

同団体は、昭和60年から活動し、現在も月1回の頻度で絵本や紙芝居の読み聞かせを行うなど、長年にわたって読書の推進に尽力したことから、公益社団法人読書推進運動協議会より優良読書グループとして表彰を受けました。

報告を受けた福地憲司教育長は「これまでの活動に感謝申し上げます」と述べ、受賞をたたえました。

市民の力作がそろって 市総合美術展

市総合美術展は11月5日、スポーツアリーナそうま第二体育館で開かれました。

市、市教育委員会が主催し、市文化団体連絡協議会の共催で、11月5日～7日の3日間開催。

会場には、一般の部5部門（絵画、彫塑、工芸、書、写真）の219作品が展示され、多くの市民らが個性豊かな力作を鑑賞していました。



豊かな感性を育てる MOA美術館 児童作品展表彰



MOA美術館相馬市児童作品展表彰式は11月7日、市総合福祉センターで開催され、受賞者ら約80人が出席しました。

同作品展は、子どもたちの美の心と豊かな感性を育てることを目的に、MOA美術館とMOA美術館福島県実行員会の主催。

市内の児童・生徒が出展した400作品の中から、特別賞など計30作品が選ばれ、荒秀一同実行委員会委員長が一人一人に表彰状を手渡しました。

災害に備えて

女性消防隊炊き出し訓練

市女性消防隊炊き出し訓練は11月5日、市防災備蓄倉庫で行われ、隊員と市職員合わせて40人が参加しました。

訓練は、災害時に避難所などで給食などを提供すること想定し、調理器具などの使用方法を学ぶことを目的に実施。

隊員らは協力して約70人分のカレーライスや豚汁、おにぎりを作り、災害時の行動を確認しました。



火の用心を呼び掛け

女性消防隊啓発活動

市女性消防隊啓発活動は11月7日、市内商業施設（ヨークベニマル相馬店、同相馬黒木店）で実施され、隊員8人が参加しました。

隊員らは、来店者一人一人にマスクとチラシを配布し、「今年は昨年と比較して火災の発生件数が増えています。主な火災の原因は火の不始末です。火の取り扱いに注意しましょう」と火の用心を呼び掛けました。



9カ月ぶりに通行が再開

大手門復旧工事完了検査

中村城跡外大手・一ノ門（大手門）の災害復旧工事完了検査は11月5日、同門で行われました。

同門は、2月13日発生の福島県沖地震により袖柱が歪み倒壊の恐れがあったため、市が通行を規制し、復旧工事を実施。

10月の中間検査を経て、袖柱や石垣の補修が完了したことから、市職員が補修状況を確認し、9カ月ぶりに同門の通行が再開されました。



日ごろの活動に感謝

行政相談委員に感謝状

福島行政監視行政相談センター所長感謝状の贈呈は11月9日、市役所で行われました。同感謝状は、行政相談委員として長年の活動に感謝の意を示すもの。

立谷市長立ち会いのもと、阿部浩也同センター所長から菅野良成行政相談委員に感謝状が交付され、菅野さんは「引き続き行政相談委員の活動をPRしていきたい」と今後の抱負を述べました。



野球場の建設を要望

市営野球場建設促進協議会

野球場の建設を求める要望書の提出は11月10日、市役所で行われ、立谷幸雄相馬市営野球場建設促進協議会会長ら8人が訪れました。

要望書は、スポーツ交流人口の拡大を図るため、野球場建設計画の早期の事業着手を求めるもの。

要望書を受け取った立谷市長は「光陽地区にスポーツ合宿などに利用できる施設の建設をすすめていきたい」と述べました。

